

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和3年7月17日
大阪管区気象台

近畿地方は梅雨明けしたと見られます。

近畿地方は、湿った空気の影響で雲が広がり、雨の降っている所がありますが、高気圧に覆われて晴れている所が多くなっています。向こう1週間も、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、近畿地方は7月17日ごろに梅雨明けしたと見られます。

なお、梅雨の期間は62日間となり、梅雨入り・梅雨明けの記録がある1951年（昭和26年）以来、最も長い期間となります。

（参考事項）

1 近畿地方の梅雨入り、梅雨明けの時期

	梅雨入り	梅雨明け
平年	: 6月6日ごろ	7月19日ごろ
昨年	: 6月10日ごろ	8月1日ごろ

2 梅雨入りを発表した5月16日から7月16日までの降水量の合計

気象官署	降水量(ミリ)	平年値(ミリ)
大阪	733.0	371.4
アメダス地点	降水量(ミリ)	平年値(ミリ)
能勢	537.0	386.8
茨木	552.5	459.1
枚方	615.0	385.6
豊中	547.0	370.5
生駒山	669.0	425.6
堺	416.0	328.7
八尾	471.5	319.7
関空島	325.0	323.3
河内長野	499.0	362.8
熊取	417.0	340.7

（降水量の合計は速報値、平年値は1991～2020年の平均値です。）



(注意事項)

・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

・梅雨の時期に関する報道発表は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表するものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本報道発表の期日が変更となる場合があります。

問合せ先：大阪管区気象台 気象防災部予報課 担当 浜本・矢野・田口
電話 06-6949-6303 (内線 5412、5416)